

公開対談シリーズ 第1回

NINAGAWA 千の目

僕の中には、いつも 千人のお客さんの目が…

蜷川（以下N） 芸術劇場の創造的責任者になった蜷川です。どうぞよろしくお願ひします。

私は多くの人にこの劇場を愛して頂きたいと思っています。（後ろに）「千の目（まなざし）」と書いてあります。

これについて申しますと1971年か72年の僕が若い頃、映画館の休憩時間に廊下に出たら、見知らぬ若者が寄ってきました。「蜷川さん、ちょっと話があるんです。外に出てくれませんか」と言うので喫茶店に行きました。突然、テーブルの下で「ガチャッ!」と音がしました。何かと思ったら、ジャックナイフが僕に当てられていて「蜷川さん、あなたは希望を語りますか?」「希望なんか語らないよ。語れるはずがないよ」と答えたら「ああ良かった。あなたが希望を語ったら刺すつもりでした」と言われました。

僕はその時思ったのです。客席にはそうやって目に見えないナイフを持ったお客さんがいっぱいいて、僕がどういう事をし、何を語り、どのように生きていくのかということとちゃんと見ている人達がいる。そのときから僕の中には、いつも千人のお客さんの目があり、千本のナイフを持ったお客さんがいて、「お前はちゃんと現実を正しく見て、誠実に物を語る演出家であり続けられるのか?」と問いかけているんです。今度この劇場の創造的責任者となり、何をやりたいのかを知っていただくために、新しく対談シリーズをスタートさせて頂くこととしました。

このシリーズを「千の目（まなざし）」と名付けて、これから色々な方々とお話をしながら、その楽しみを皆さんと共有していきたい、そして、ここに来ると楽しいと思える劇場にしたいと思っています。

学ランが衣装、タイツじゃなく股引

N さて、第一回目のお相手は舞踊集団「コンドルズ」の主宰者であり振付家でもある近藤良平さんです。不思議なダンスというか、新しいパフォーマンスだと僕は思っています。僕は近藤さんのファンで、いつかお会いしたいと思っていました。それで対談シリーズの始めは、是非、近藤さんに来て頂こうと思ひました。

色々な事をこれからお聞きしたいと思っています。

では、近藤さんです。（拍手）

近藤（以下K） 緊張しますわ。

N まず、近藤さん編集のDVDを観せて頂こうと思ひます。

（映写開始）

K これは去年の夏に、シアターアプルでやった公演のオープニングです。みんなが学生服を着ていますが、全然学生ではありません



近藤良平

コンドルズ主宰・ダンサー
Ryohei Kondo

（財）埼玉県芸術文化振興財団芸術監督の蜷川幸雄が各界気鋭アーティストたちを迎えてお話を聞く公開対談シリーズ「NINAGAWA 千の目」がスタート。その第一回目には、来る5月に彩の国さいたま

Profile

近藤良平（こんどうりょうへい）

ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。主宰する「コンドルズ」は男性のみのダンスカンパニー。舞台衣装は「学ラン」。ハイスピードなシーン展開で、ダンス、映像、生演奏、人形劇、演劇を緻密な計算のもと縦横無尽に使いこなすステージングで話題の嵐に。「情熱大陸」、「トップランナー」にも出演。さらに「気志団 TOUR '04」、NHK教育「からだであそぼ」の振付なども担当。2004年第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。

（財）埼玉県芸術文化振興財団芸術監督・演出家

Yukio Ninagawa

蜷川幸雄

芸術劇場で公演が予定されているコンドルズの代表近藤良平さんにご登場していただきました。世界も世代も違う2人の創作の現場について興味深いお話が展開されました。

photo:幸田 森

ん。よく見ると分かると思いますが、四十過ぎもいます。（笑い）働いている人が多くて、学校の先生だったり、もちろんダンスを中心にやっている人もいます。

N ナンセンスなというか権威崩しのシーンが好きなんです。

K 何故なんですかね。僕はそういう育ちなんですか。あまりナンセンスだと思っていないんですけど、そういうことのズレが滑稽さになっちゃうんですかね。

N 例えばタイツで踊っても股引に見えるではないですか。



K 本当に股引です。クラシックバレエとかモダンバレエは普通タイツをはいているじゃないですか。これってどう考えても滑稽に見えてしまうんですよ。

N 基本的にメンバーはダンサーの経験のある人なんですか?

K それがちょっと変わっていて、僕達そんなに若くないので、ダンスをバリバリにやっていた人は誰もいないんですよ。僕も含め大学の時に間違っモダンダンスを始めてしまったみたいな、そういう人の集まりなんです。

N 集団的にダンスのレッスンをすることはないんですか?

K まずないですね。

N では、すぐ振りに入っていくんですか?

K そうですね。もちろんストレッチとかはします。振り付けがちょっと特殊なんですけど、彼らは僕と付き合いが長いので僕の振りは踊れるけど、他の踊りは全くだめですね。

N 僕の芝居ばかり出ていると歪むのと同じです。僕の場合は性格も歪んでしまいます。

N 学ランを衣装にしたということはどういう事なのですか?

K 始めたころに、何を着るのかを考えるのが難しくて、たまたま全員持ってきたのが学生服だったんです。

（映写終了）

N 僕も舞台だけでなく映像もやっているのを見て下さい。「青の炎」で、ジャニーズの二宮和也と松浦亜弥を使って一緒に仕事をしました。

（映写開始）